

令和7年度「大学生海外インターンシップ支援事業」に参加した学生の報告会

大学生の海外インターンシップを支援する県の事業を活用して、県内企業の海外事業所でのインターンシップに参加した学生が、成果を報告するため12月19日に長野県庁を訪問されました。

本事業は、県内高等教育機関の魅力向上および、学生が海外に目を向け活躍の場を求める機運を醸成してグローバル人材の育成を図るために、産学官で連携して平成28年度から始めた事業です。コロナ禍の中止はありましたでしたが今回で7回目となります。

今年度、海外インターンシップに参加した学生は5名です。このうち、今回、県庁を訪れた学生は4名で、(株)ユウワ様のベトナム事業所で参加した学生が3名（信州大学2名、公立諏訪東京理科大学1名）および、エーシーエ設計(株)様のベトナム事業所で参加した学生が1名（信州大学）です。

受け入れていただいた企業からは、エーシーエ設計様から2名、ユウワ様から1名がWebにて参加いただきました。また、大学関係者として、信州大学から3名、公立諏訪東京理科大学から1名がWebにて参加いただきました。

参加した学生は、事前に作成した資料を基に県民文化部長に対して、学びや課題、今後の抱負等をプレゼンテーションしました。日本とベトナムの文化・働き方・建物等の違い、人口ピラミッドの比較による考察、日本とベトナムそれぞれの国の今後の課題、自分の進むべき方向等について、感じたこと・考えていることを自身の言葉で伝えました。



最後に、県民文化部長から「受け入れていただいた企業様に感謝申し上げたい。学生にとっては現地に行かないと分からぬことを感じることができたと思う。学生の皆さんのがんばりや成長に役立つなら嬉しい。長野県内に就職し地域貢献もしていただけるとありがたい。」とコメントし、一緒に記念撮影をして報告会を終了しました。

以上